

2024年6月1日
第576号
(毎月1日発行)

咲いたネット
URL：
http://www.saitanet.or.jp
Eメール：
saita@saitanet.or.jp



発行所
埼玉県労働組合連合会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-10-11 第一木村ビル
TEL 048-838-0771
FAX 048-838-0775
編集発行人
埼玉県労働組合連合会
【定価】1部50円
(組合員の購読料は組合費に含む)

第95回埼玉県中央メーデー

第95回埼玉県中央メーデーが、5月1日に北浦和公園で開催され、埼玉春闘共闘・埼玉連加盟組合、地域組織、争議団、友好団体などから1050人が参加しました。

当日は、あいにくの雨模様となりましたが、埼玉合唱団による「最賃音頭」やデコレーションコンテスト、お楽しみ抽選会など、当初の予定通りの運営となりました。

今年、埼玉県と埼玉労働局への要請

団に職場で働く女性などにも参加してもらい、職場の厳しい実態を訴えてもらうことにし、パレード終了後にそれぞれ要請行動を行いました。

県庁までのパレードも予定通り行い、雨の中沿道の人たちに訴えました。

各地域メーデーは、前夜祭含めて20地域21会場で開催され、埼玉県中央メーデーとあわせて約4000人が参加しました。

(地域メーデーは4面に掲載)



埼玉合唱団の最賃音頭



デコレーションコンテスト



雨にも負けずにパレード



団結カンパロウ(新島実行委員長)

* 紙面から *

- 第95回埼玉県中央メーデー (1面)
- 埼玉高教バレー大会 (5面)
- 県要請・労働局要請 (2面)
- 各組織の春の拡大のとりくみ (6面)
- 地域メーデー (4面)
- 埼玉労共のページ (8面)

埼玉県と労働局へ要請(メーデー)

メーデー実行委員会として毎年行っている埼玉県への要請と労働局への要請を実施しました。

5月1日当日が平日(水)だったため、県要請も労働局要請も当日の午後に行いました。

県要請には、メーデー実行委員会から、新島実行委員長、沖田(埼教組)、西口(自治労連)、前島(さいたま地区労)各副実行委員長、北村(女性部)、田中(埼教組)、橋本(コープネットグループ労組)の各埼玉労連幹事が参加し、雇用労働課への要請書の提出と50分の懇談を行いました。



県へ要請書提出

要請内容は、①県民のいのちと健康を守るため、医療・検査体制及び公衆衛生体制の強化、医療機関等への財政支援強化をおこなうこと。②埼玉県公労使会議共同宣言「非正規雇用対策及び働き方改革に関する共同宣言」を踏まえ、特に非正規雇用の処遇改善、雇用の安定および正規雇用への登用が進む役割を果たすこと。③医療・介護・保育などに従事するケア労働者を始め、公契約で働く労働者の賃金を直接改善し、行政の責任で安定雇用を実現する施策を推進すること。④異常な物価高騰から県民の暮らしを支えるため、憲法第26条で保障されている義務教育無償にかかわって「学校給食の無償化」を実現するために財政支援をおこなうこと。⑤国連の女性差別撤廃条約、埼玉県男女共同参画推進条例の理念に基づき、ジェンダー平等、女性の地位向上のための施策をさらに推進すること。⑥公共交通機関の運行休止・廃止に対して、地方自治体と連携して県民の交通の足を確保すること。の6項目です。

労働局への要請は、小野(埼玉高教)、鈴木(建文労)、宮本(医労連)の各副実行委員長、上田(コープネットグループ労組)、佐藤(さいたま地区労)の各埼玉労連幹事と大戸事務局長が参加。



労働局へ要請書提出

要請内容の①労働契約法の無期転換ルールが適用される直前での雇止めが横行する事態に、脱法行為が発生しないようにするなど労働者保護法制度が機能する監督指導体制を強化するよう適切に職員を増員を図るとともに、法制度の問題点を改正するために、政府内で検討すること。②憲法、労働基準法、最低賃金法などの趣旨と労働実態を踏まえ、最低賃金の再改定をおこなうこと。合わせて時給1500円以上に引き上げるとともに、全国一律最低賃金制度とするよう、政府内で検討すること。

併せて年収の壁問題を改善するよう働きかけること。③医療・介護・保育などに従事するケア労働者を始め、公契約で働く労働者の賃金を直接改善する施策を推進するよう関係機関で検討すること。④埼玉県公労使会議共同宣言「非正規雇用対策及び働き方改革に関する共同宣言」を踏まえ、特に非正規雇用の処遇改善および正規雇用への登用が進むよう役割を果たすこと。⑤日本経団連「労使自治を軸とした労働法制に関する提言」を背景に政府が議論を進める労働時間規制の「適用除外」拡大など労働基準法改善や、労働基準行政の弱体化に反対すること。⑥時間外労働の上限規制(2024年問題)にかかわる時間外労働の規制に伴って、労働者の年収減にならないよう政府内で検討すること。⑥6項目について意見交換しました。今回は、職場で働く女性労働者に参加してもらい、女性労働者の立場から働き方の実態について報告してもらいました。今後、県や労働局に労働者保護施策の改正・拡充などについて要求していきます。

春のナースウエーブ行動

(埼玉医労連)

埼玉医労連は看護の日である5月12日(日)、春のナースウエーブ行動(浦和コミュニティセンターで集会、浦和駅東口で宣伝)を実施。当日は現地18人とオンラインで6人が参加しました。

集会では、大阪大学副学長・D&Iセンター長の島岡まな教授の学習会「ジェンダー平等を実現するために」を実施。島岡先生は、

日本の悲惨な状況と日本人が変わら(れ)ない理由を講演し、ジェンダー平等を実現するために、真の人権を理解し行動することを呼びかけました。

島岡教授は、ジェンダー平等が必要な理由として、「イノベーション創出やそれに伴う経済発展はかり強調されるが、最も大事なことは人権尊重の理念である」とし、「無知・無関心・中立



浦和駅東口で宣伝

が社会をよくすることは絶対になく、むしろ悪くする」、「いい人」であることと「抑圧的」であることは両立する、との言葉が印象的でした。

その後、浦和駅東口に移動し、1時間強の宣伝行動を行い、カーネーション300セットを配布、医師・看護師増員署名131筆、マイナ保険証反対のチラシの入ったティッシュ182個を配布しました。

(埼玉医労連発)

全国一般がさいたま市内の保育園訪問

全国一般は、さいたま市内の私立保育園訪問をすすめています。訪問では、働き方や労働組合に対するアンケートと最低賃金の署名を渡しています。

この間、訪問したうちの21カ所からアンケート135枚が寄せられました。特徴は若い労働者が多く答えてくれたことです。

働き方に関する質問で、「仕事

について特に不満や不安に思っていること」を3つ選んでもらった結果、①賃金が安い82%、②人手不足52%、③休暇が取れない16%となりました。また、労働組合については、「あったほうがよい」が49%、「わからない」47%と、予想以上に組合は必要と考えている人が多いことがわかりました。

「組合に何を期待しますか」で

3つ選んでもらった項目では、①賃上げ70%、②労働条件の改善45%、③最低賃金のアップ35%でした。

今回の結果を受けて、これから労働組合との関りを強め、組合づくりを働きかけていきます。

また、最賃1500円以上を求め署名は、8職場から101筆が寄せられました。

(全労連・全国一般発)

ピーエスフードサービス支部で3%賃上げ(JMUTU)

JMUTU埼玉ピーエスフードサービス支部は、24春闘で3%の賃上げを実現しました。組合ができる前は、何年か前に数千円上がったことがありましたが、ほとんど賃上げも一時金もありませんでした。

初回答で2%の回答がありましたが、職場集会では「物価があ

がっていて生活が大変。もっと上げてほしい」と組合員から切実な声があり、執行部も「もう少し頑張ってみよう」と意思統一し事

務折衝も重ねた結果、3%賃上げになりました。また、付帯要求として、就業時間中の健康診断を認めさせることや冬季のスタッドレスタイヤは栃木、茨城方面を配達するトラックのみでしたが、今後段階的に全車に装着していくことなど7項目の前進回答を引き出しました。

4月12日の支部臨時大会では、不満は残るものの出席組合員全員賛成で24春闘は妥結しました。これからは5月22日が夏季一時金



の要求日になります。5月10日の全体集会で要求を練り上げ、久しぶり「ボーナス」を獲得するために奮闘していきます。

(JMUTU埼玉地本発)

各地域のメーデーの様子

北足立南部地区メーデー

北足立南部地区メーデーは、5月1日に雨天のために約20年ぶりに朝霞コミセン3階ホールで24団体231人の参加で開催しました。



北足立南部地区メーデー

メーデー歌が高らかに流れ、本実行委員長が「物価高の中で、大変な生活を強いられています。今年の春闘の中で、一定の賃上げをストライキも構えて、賃上げを勝ち取っている多くの仲間が全国

にいます。でも、よくよく見ると物価上昇を超えているところは5〜6%で、残りの9%は、物価上昇に追いつかない状況です。また、労働者の4割を超えたと言われている非正規職員の賃上げは、本当に置いてきぼりになっているこんな状況をいつまでも許していることはできません。この後1分科スピーチで各団体が要求を述べて、今日参加いただきたい方の全体の共通の認識をさらに広げる場として、メーデーを成功させていきたいと思えます。」とあいさつ。

1分間スピーチでは、新座年金者組合、新座学童、新座共産党、新座生健会、電機・情報ユニオン、志木年金者組合、志木共産党、西南民商、朝霞年金者組合、土建朝志和支部、和光共産党の11団体が報告しました。鎌原副実行委員長のスローガン提案、上蘭事務局長による集会宣言の提案、採択。小野副実行委員長の閉会あいさつと、松本実行委員長の団結が



熊谷地域メーデー

んぼろうで集会は終了して、朝霞駅に向かって「働くルールを確立しよう」「大軍拡・大増税は許さないぞ」「理研は雇い止め撤回しろ」等々訴えて元気よくデモ行進を行いました。リアル開催は良かったです。土建朝志和の藤原さんが舞台とデコレーションを作ってくれました。メーデーの舞台が非常に映えました。

所沢地区メーデー

第95回メーデー所沢集会が午前10時から正午まで、航空公園野外ステージで開催され、参加は170人でした。

雨のなかでもよく集まったと思えます。参加団体のアピールを毎



行田羽生地域メーデー



飯能日高地域メーデー

回っており、今回は19団体(労働組合以外の市民団体も含む)がアピールし、参加者も盛り上がりました。

埼玉県知事に案内を送っていることから、今回も知事のメッセージが県から送られてきました(昨年までは代理参加)。



秩父地域メーデー前夜祭



深谷寄居地域メーデー



組合加入訴え2 駅頭で宣伝

電機・情報ユニオン

電機・情報ユニオン埼玉支部は4月16日(火)と4月23日(火)の両日、初めてとなる駅頭宣伝を実施しました。

16日は川越駅東口、23日は北朝霞駅・朝霞台駅のロータリーで午後6時から7時まで、ユニオンの紹介と組合加入を訴えました。

川越駅東口では5人が参加し、北朝霞駅・朝霞台駅ロータリーでは地元・北足立南部地区労のみなさん9人が応援に駆けつけてくれ14人での宣伝でした。両駅頭でチラシを150セット配布し、にぎやかに宣伝をすることができました。駅を通る人の反応では、若い女性3人組がビラを見て「中小企業ヤバイ!」と驚き、後ろから来た若い男性が「ください」とビラを受け取り、ビラを見ながら歩いて来た若い男性が「もう一枚

マイクで加入訴え



マイクで加入訴え

ハンドマイクでの訴えを立ち止まっていた中年の女性が近づいてきてビラを受け取ったなどの嬉しい反応がありました。

応援に駆けつけてくれた地区労の皆さん、本当にありがとうございました。

(電機・情報ユニオン埼玉支部発)

5年ぶりのバレー大会 (埼高教)

埼高教は、4月29日(月・祝)に、5年ぶりとなる障教部主催の新歓バレーボール大会を開催し、初参加の2校を含めて11校と青年部チームの計12チームが参加しました。

未組合員の方が直接本部に問い合わせをしてくれるなど、大会を心待ちにする参加者が多くいました。職場の仲間の絆を深めるレクリエーションとして企画しましたが、とても本格的な試合が多く、

素晴らしいプレーには、敵味方関係なく「ナイスサーブ」「よく拾ったね」など、温かい言葉がかけられました。

大会後には、「他校の人とも交流できてよかった」「定期的にこのような企画をしてください」などの感想を聞かれ、絆を深められた大会となりました。応援を含め約120人が参加し、盲学校チーム『白杖ボンバース』が優勝しました。



本格的なプレーも

1人の組合加入もあり、大成功に終わりました。

(埼高教発)

輝け! 女性のつどいを開催

年金者組合

年金者組合埼玉真本部女性部は4月25日(木)、第10回輝け! 女性のつどいを与野本町コミュニティセンターで開催しました。参加者は約160人でした。

午前中は絵手紙体験やティッシュケース・名前カードづくり。午後は前進座の口上、うたごえ広場やハーバリウム体験など。抹茶コーナーやカフェもあり、女性が喜んで参加できるコーナーが盛り沢

山でした。会場では支部ごとに手作り展示品や販売物も見応えがありました。

ハーバリウムは組織活動のレクリエーションに活用している医労連・民医労の北村明子さんを講師に迎えました。みんなでわいわい交流しながら作った作品は「作って楽しい」「飾って癒やされる」ものでした。

今回で10回目を迎える女性のつ

どいを男性陣も下支えし、大変元気の出るつどいとなりました。



支部の作品も展示

12年連続の目標達成で3年ぶり実増 埼玉土建が春の拡大月間

埼玉土建は4月まで取り組まれた24年春の拡大月間で「全支部・全分会の奮闘で、3年ぶりの実増と新年度のスタートダッシュを成功させよう！」をスローガンに、最終日まで大奮闘が続けられ、12年連続の全真総目標達成となりま

5人の到達（28支部が達成）、主婦の会は目標718人に対し805人の到達（32支部達成）となり、27支部がトリプル達成を果し、全体でも4年連続のトリプル達成となりました。月間前半戦は、「3年ぶりの組織実増」を合言葉に、全支部の役員・書記が一丸となつて奮闘しま



三郷支部の打ち上げの様子

した。すべての支部で3月現勢にこだわった大奮闘が実り、年度末現勢は6万4833人（前年比+22人）となり、「3年ぶりの組織実増」を果たすことができました。

今年の月間の特徴では、土建国保料改定にむけた「土建国保を守る大学習運動」で、1月以降約1000人の仲間が学習に参加し、土建国保の語り部となって、社会保障削減をしている岸田政権への怒りと、土建国保のメリットを仲間のすみずみに広げたほか、事業所対策では新規雇用や外国人労働者の加入を広げ、新設法人への宣伝や訪問を行うなかで、組織外からの加入相談が広がったことが大きな特徴でした。

さらに、多くの支部で旺盛に取り組まれた「集まる・集める」取り組みでは、新しい仲間や事業所丸ごとの参加を勝ち取り、月間の力にできました。その結果、組織建設だけでなく、共済推進や次世代や新しい役員の行動参加が進み、土建本部は「新年度に向け大きな弾みになるはず」と話しています。

30歳以下の5人を組合へ（埼教組）

今年度、埼教組では5人の新しい仲間を迎えました。

3月中に加入確約をした新採用者は、お母さんが埼高教組員で「教員になるのなら組合に入ったほうがいいよ」と勧められ、決意したそうです。もう一人の新採用者は、新採者への宣伝行動で埼教組について知り、加入してくれました。

職場やサークルの組合員からの影響で、加入を決意された方もいます。「自分は表立って活動はできないけど、組合の大切さは分かる。財政的に支援する意味で加入する」と言ってくれた方。職場で

活躍している組合員や同じ学習サークル組合員の姿を見ていて、自ら「組合員になりたい」と、夜の職員室で組合員に話してくれた方。サークルでお世話になっている組合員の勧めに快諾した方。この5人は、ともに30歳以下の青年組合員。さまざまなつながりのおかげで活躍している組合員の姿を目にして、加入を決意してくれました。

埼教組では4月から6月までを第1期加入促進月間としていきます。この勢いで、さらに組織拡大を進めていきます。

（埼教組発）

埼玉労働組合連合会
埼玉労働組合連合会
さいたま市東区高砂 3-10-11
TEL:048-838-0771
FAX:048-838-0775
組織内資料 2024年6月8日

埼玉労働連24春闘「速報」 活動レポート

2024年 第29号

青島スローガン「大増と改善・戦争の道にすすむ。自政治を変えなければ暮らしも守れない
異常な物価高騰を上回る大幅増上げを、仲間の力を引き出し勝ち取る闘いに」

増教組4月からの組織拡大 30歳以下の青年教職員が加入

今年度、増教組では5人の新しい仲間を迎えました。3月中に加入確約をした新採用者は、お母さんが埼高教組員で「教員になるのなら組合に入ったほうがいいよ」と勧められ、決意したそうです。もう一人の新採用者は、新採者への宣伝行動で増教組について知り、加入してくれました。

職場やサークルの組合員からの影響で、加入を決意された方もいます。「自分は表立って活動はできないけど、組合の大切さは分かる。財政的に支援する意味で加入する」と言ってくれた方。職場で活躍している組合員や同じ学習サークル組合員の姿を見ていて、自ら「組合員になりたい」と、夜の職員室で組合員に話してくれた方。サークルでお世話になっている組合員の勧めに快諾した方。この5人は、ともに30歳以下の青年組合員。さまざまなつながりのおかげで活躍している組合員の姿を目にして、加入を決意してくれました。増教組では4月から6月までを第1期加入促進月間としています。この勢いで、さらに組織拡大を進めていきます。

（増教組発）

4・6地域運動交流会・第6分会報告

第1テーマの次世代結核では「福祉保育職場と関係をつくってきた。埼高教や土建の仲間たちと次世代部をつくらせたい」（春日部）、「三郷の長良連連連の組合は東京医労連所属なので、地域の関わりで困難もあるが、市労連には参加できていて、2職場の支部も3の代表が少ない」（三郷）、「地域には労連組合が2つあり、職場は若い人が多い。地域で何かやろうとしたい」（熊谷）、「組合員が小さくなって交際の機会が減っている。少ない人数で何か集まろうと『小さな集まり』を呼びかけている」（自治労連）などの意見や組合でのとりくみが報告されました。また熊谷地域労連では、体育館の建て替え問題で地域住民とつながり、要求運動が始まっていること、これまでにつながりつつある住民とつながりができていること、そこに地域労連の組合員が参加していることなどが紹介されました。熊谷の熊谷市も参加しており、「地域の要望は、労組組合がなければ解決の道筋が見えないことから、組合の役割は大きい」と結核してくれました。

第2テーマの地域組織の役割に関わっては、「地域医療を支える産産現場の労働者への支援を市労連に広げたい」（熊谷）、「地域労連として地域性医療者は課題になっていない。来組合組織ではない支援も探せる。産産性労働者は組合活動をよく見える活動でもあり、頑張りたい。三郷市でも全県一律産産で組合への働きかけをしてみたい」（三郷）、「春日部市政では、会計年度任用職員や委託労働者などへの対応がむづかしい。公務の仲間が集まる組合力では具体化できると考えている」（春日部）、「高校生は最低賃金の意識がとて高い。産産型で高校生とよく対話になる。毎月1500円の委託費が当り前という感じだ。全県一律産産（産産）の意見書採択を熊谷市でも仕掛けていきたい」（熊谷）などが出され、24春闘後半の闘いで、地域から職員同士・産産性労働者のとりくみをすすめる決意が出された分散結核でした。

熊谷市労働組合連合会、埼玉労働組合連合会

非正規労働者の賃上げは一部のみ

「非正規春闘」実行委員会がこのほど発表した、非正規労働者の賃金実態をインターネット上で聞いたアンケート結果によると、1月から4月末までに、賃金が「上がっていない」と答えた割合は73%となつています。「賃上げ情勢」と言われても、非正規労働者への賃上げの波及は一部にとどまっていることが解ります。

アンケートは5月1日から8日の8日間で、全体で251件の回答が寄せられました。

1月から4月末までに賃金が上がったかを聞いた質問には、「上がっていない」が約73%で最も多く、「時給11円〜50円上がった」は10%、「同一円〜10円」が5.6%、「同一円〜100円」が4.4%という結果です。

今の賃金を上げてほしいかとの問いには、「とても思う」が約93%、「どちらかと言えば思う」が6.4%で、合わせて99%近くを占めています。

時給を上げてほしい理由(複数回答可)としては、「物価上昇で

生活費が高騰しているため」の76%が最も多く、「生活していくうえで賃金が低すぎる」が73%、「現在の賃金では将来が不安」が61%とたかくなっています。

賃上げを望む人に、どのような行動を起こしたかを複数回答で聞いたところ、「何もしていない」、が42%と最も多く、「同僚に愚痴を言った」(29.6%)、「会社や上司に相談・要求した」(28.8%)、「副業を始めた」(15.2%)と続きます。

春闘のイメージについては、「一部の正社員のみに関係するものだと思う」(36.8%)がまだ多く、「自分や社会にとって重要なもの」(24.8%)、「自分には関係のないものだと思う」(20.8%)と続き、「聞いたことがなかった」という回答は1.6%でした。

賃上げが非正規労働者に波及しにくい今の状況を変えていくためにも、これから始まる最賃闘争で最低賃金の大幅引き上げを求めていきたいと思います。

幹事会前に宣伝 飯能日高地労連

飯能日高地労連では、毎月19日から行う幹事会の前に最賃宣伝を取り組んでおり、5月も15日(水)、飯能駅北口にて18時から18時40分まで3人(2団体)の参加で最賃宣伝を行いました。

全国一律1500円以上の最賃をとハンドマイクで訴えながら、チラシを折り込んだティッシュを70個配布しました。

夕方やはり仕事帰りの往来が多く、「全国で1500円にしなればだめだ」、「苦労様です。頑張ってください」と声をかけてくれる人もいて、取り組んでいる側としては大いに励まされました。

毎月の取り組みは3〜5人と少人数ですが、数は力。1人でも多くの市民に地労連の取り組みや全国一律最賃の運動を周知してもらうことが重要であることを確信に、来月も17日に元気に取り組み予定です。

最賃・生計費のとりくみ推進

埼労連と労働法制埼玉連絡会は定例の最賃・労働法制宣伝を5月15日(水)の12時30分から浦和駅東口で行い、7組織から14人が参加しました。

当日は12時から30分間、「沖繩辺野古の新基地建設に反対する署名宣伝行動」が行われており、参加していた『うたごえ協議会』の仲間が引き続き、最賃宣伝に合流。メーデーでも披露した「サイチン音頭」で盛り上げてくれました。

埼高教の小野委員長(最賃公契約適正化委員会委員長)は、「労働者の実質賃金が24カ月連続でマイナスの

引き上げが必要です」と訴え、参加した自治労連の西口委員長、全国一般の水野谷委員長、埼労連非正規部会の清宮部長が交代でマイクを握り、それぞれの立場から訴えました。

通りすがりの年配の女性が足を止め、「私はこの年齢(70代くらい)でも働かないと年金だけで生活できない。時給はとても安いけど、業績が良くないので社長に上げてほしいと言えない」と話し、署名されました。

45分間の宣伝でしたが、対話もでき、埼玉労働局宛ての署名は5筆集まりました。

中、物価も上がり生活はとて厳しい。私たちが過去にとりくんだ生計費調査では20代単身者で月額24万円が必要と示されており、最低賃金の

2024年5月16日(水)

最賃署名・生計費調査とくみ推進ニュース

最賃署名10万筆 生計費調査 2000宛に到着して
署名者個人 対応を乞い、仲間とともに目標をやり遂げよう！
実行：埼玉労働法制適正化委員会 電話 048-408-0771

最賃宣伝に7組織 14人参加、再びサイチン音頭で元気に

埼玉県労働局(最賃・労働法制宣伝)を5月15日(水)12時30分から浦和駅東口にて行い、7組織から14人が参加しました。12時30分から30分間、「沖繩辺野古の新基地建設に反対する署名宣伝行動」に参加していた『うたごえ協議会』の仲間が引き続き、最賃宣伝に合流。メーデーでも披露した「サイチン音頭」で盛り上げてくれました。

埼玉労働局宛てに署名は5筆集まりました。

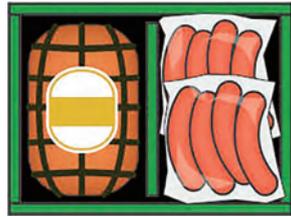
埼玉労働局宛てに署名は5筆集まりました。

最賃を1500円以上に!

埼玉県労働局宛てに署名は5筆集まりました。

最低生計費調査「雲さ込み費」5月も開催します

①5月22日(水)19時~21時 霞ヶ丘センター
②5月23日(木)19時~21時 霞ヶ丘センター
③5月24日(金)19時~21時 霞ヶ丘センター
④5月25日(土)19時~21時 霞ヶ丘センター



夏ギフトが 終了に

(丸大食品)

毎年、お中元とお歳暮の時期に割引価格で加工肉などのギフト商品を斡旋販売していた「丸大食品」について、埼労共を窓口としての取扱は冬ギフトの年1回となり、夏ギフトの取扱は終了となりました。

(ただし、2年以内に利用のあった組合員へは個別DMが送られて引き続き利用できます)。

6月の上映案内

6月の上映は「福田村事件」です。関東大震災が発生したわずか5日後の1923年9月6日、千葉県東葛飾郡福田村で起こった殺害事件。

大震災後の混乱の中で流言飛語が飛び交い、人々が疑心暗鬼に落ち入り、讃岐弁を話していた香川から福田村を訪れていた行商団9人が殺害された。行き交う情報に惑わされ生存への不安や恐怖に煽られたとき、集団心理は加速し、群衆は暴走する。

100年前の実話が今を生きる

私たちに伝える異色作です。

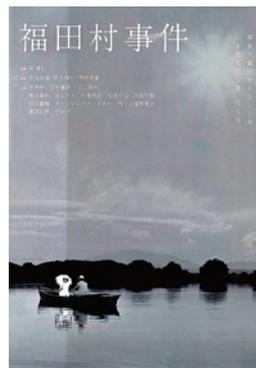
日時 6月25日(火)

埼玉会館小ホール

- ① 10時30分
- ② 14時
- ③ 18時30分

*今回は特別料金になります。

埼労共専用当日精算券のご利用の場合1200円です。



全労連共済が愛称を募集

2025年4月に新設される「自然災害特約」に合わせて、火災共済の愛称募集の案内です。

応募できるのは共済事業部会・

実務支援部会で組織共済に加入している組織の組合員に限られ応募期間は2024年7月31日まで。採用者1名には3万円の懸賞と火災共済の掛金1年間がプレゼントされます。佳作9名は火災共済の

掛金1年間プレゼント。

応募・お問合せは、全労連共済の共済事業部会・実務支援部会事務局まで

(03-5842-3750)

まだ組織共済に加入していない組合は、これを機会に加入を検討されてはいかがでしょうか。

(組合員全員加入が必要で、毎月1人5円から可能です)

能登半島地震 支援物資のご協力を!

地震発生後4か月経ちましたが奥能登地方への行政支援は不十分で復旧・復興にはまだほど遠い状態にあり、石川県災対連から要望で、全労連は被災者への支援物資の拠出を呼びかけています。

支援物資は新品もしくは未使用品に限り、発送の際は送り状に品目等記載の上、直送ください。

なお、送料は各自負担でお願いします。また、混載は厳禁です。

支援物資リスト:(※埼労連 HP を参照して下さい)

送付先: 〒925-0026 石川県羽咋市石野町 13 番地

被災者支援共同センター気付

石川災対連 あて

TEL 0767-23-5107

フードバンク

第99便

ドバンク埼玉に提供し、子ども食堂をはじめ、保存食品を待つている方々へ送ります。

埼労連4月のフードバンク活動

は、SUなどから缶詰やパンケーキセットなどの保存食品が寄せられ、5月9日(木)に第99便として、フードバンク埼玉に提供しました。今回は3・2キログラムでした。

あらためて、各単産・地域組織でのフードバンク活動を呼びかけます。各組合で集まった保存食品を埼労連に送ってください。フー



フードバンク第99便